



動物資源
科学科

動物飼育管理学研究室

K E Y
W O R D

反すう動物/飼育管理/家畜の生産性と快適性/
外部環境と生体リズム/ICT(情報通信技術)/AI(人工知能)

研 究
テ ー マ

反すう動物の消化機能解明
ICT(情報通信技術)を応用した家畜生産技術の確立

ミッション

動物にも人にも優しい生産技術の開発

農用動物(家畜=牛、羊、豚、鶏など)の飼育目的は、動物を産ませ育て、乳、肉、卵、毛などの生産物を得ることにあります。しかし近年の「効率を重視した集約型畜産」では、高い能力・生産性を求めることが家畜や飼育管理者の負担となってきました。そこで、動物飼育管理学研究室では、生産機能(消化・吸収、成長、泌乳機能など)とその調節機構をより深く理解することで、効率よく生産し、より高い能力の発揮を目指すとともに、動物の扱い方などの改善によって、動物により良い生活環境を提供できる飼育管理技術の開発をおこなっています。

近年では、ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)技術を畜産分野へ取り入れる先進的な取り組みを行い、家畜にも管理者にも優しい動物生産の実現を目指しています。